



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

98.3.6 No.4747

技術的な作業緩和・運転保安を確立しよう

ダイヤ改定交渉報告

その2

(四七四〇号よりつづき)

運転に関係ない

「競技会」「サー

ビス研修」を

即刻中止しろ

組合 運転士に対する日常的な訓練については、規程や今までに発生した事故例を中心にして訓練を行なうべきであり、指導のしかたについても、根本的に変える必要がある。

とくに、列車の運転には全く関係のない「サービス研修」については、即刻中止すべきだ。会社 「サービス研修」については、一旦様子を見たいと思っているが、来年度については検討していきたい。

組 三カ月間乗り入れていない区間を乗務するときには、事前に線見を実施すべきだ。会 個人別に長期間にわたり乗り入れていない線区や要注意別に分けて情報把握を行なうことを始めた。京葉線、外房線、内房線については、要注意箇所については、ほぼしぼりだしているところである。

DL業務について 即刻行路を提示しろ

組 DLの配置については、給水設備などの問題も含めて幕張という話もあるが、当面は木更津ということになるのか。

会 現在では木更津がベターだと考えている。木更津駅の高架化の話もあり、煮詰まりしだいDLの話も出てくると考えるが、未来永劫木更津のままとも言い切れない状況だ。

組 千葉転では一五名がDLが担当になるが、予備の運転士をDL業務に使うというが、一五名を交番と予備で回すと一カ月に五人程度になるが、この一カ月五人では決して多いとは考えられない。

また、DLからECというような運転士の運用は、運転保安上もやめるべきだ。

会 五人位の予備で回したいと考えているが、他の業務が発生した場合などは交番から入ってもらうこともあると思うが、土・日の休みのことなどを考えると、シミュレーションしないと分からない。

続けてDLからECというこ

とについては、避けたいと思っている。

組 レール輸送については、午前の部分などが直前になって切れることもあるが、この場合の勤務はどうなるのか。

会 切れた部分については、変行路の待機になる。

また、工臨については、二カ月前から分かるが、指定後に切れた場合には、予備になる。

組 DLの資格をもっていることを理由にして転勤などに不利な扱いがないようすべきだ。これは、切実な問題であり、他と公平に扱ってもらいたい。

会 DLの資格者については、免許を取得してもらうことで対応していきたい。レール輸送や工臨については、今後もなくならないので、養成を考えていきたい。

組 退職者の問題もあり、遠い将来の問題ではない。外周区のDL資格者については把握していると思うが、外周区からまた千葉転へ行かされることを考えると、不安で仕事にもならないとうことになる。

会 一五名については、確実に確保していきたい。運転士については、優先的に採用しているもので、足りなくなることはないと考えている。

会 電車とDLの双方を担当する運転士に対しては手当てを新設するなどの補償があつていかるべきだ。貨物会社では、一カ月の間に双方を運転した場合に

は手当てを支払う制度がある。貨物会社との受委託解消の問題は全国的な問題であり、千葉だけの特殊な問題ではなく、通常の業務になるということではないのか。

会 制度の問題で本社との関係もある。本社にも申し入れをおこなってもらいたい。

運転保安確立へ ストライキで九 八春闘を闘おう

この他にも、運転保安を確立する立場から、各職場の実態を明らかにしながら千葉支社に作業の技術的な緩和を要求してきた。

今年に入って首都圏を中心にして輸送混乱が多発し、とくに中央線においてはマスコミでも「三二件の事故発生」(二月末時点)と報じ、二日に一回の割合で事故・故障が発生するなど、運転保安はまさに崩壊の危機の瀕していると言わなければならぬ。

われわれは、職場からの怒りを結集し、JR-JR総連革マル結託体制した労務政策を粉砕し、運転保安確立へ全力で闘いぬこう。

一〇四七名の解雇撤回! 強制配転者の原職復帰へ 九八春闘をストライキで闘いぬこう!
三・八労働者総決起集会に全力で結集しよう!